

授業科目名 (副題)	メイクアップ演習		
担当者	遠藤 瑞穂		
実務経験のある教員による授業	○		
実務経験内容	長期美容業界教育指導経験、MTJ認定特級メイクセラピスト・JAA認定インストラクター・セラピスト、AFT色彩検定1級、CTAカラータイプ?協会認定講師などの資格を有する講師が美容教育科目を担当します。		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他			
[ICTの活用]			
manaba	○	Moodle	
その他			
<p>[ 授業全体の内容の概要 ]</p> <p>前期メイクアップ論の授業で学んだ内容を個人、他人の顔型に合わせて顔のプロポーション、黄金律を活用してメイクができるように対面、ロールプレイングで学びます。</p> <p>顔のパーツを部分技術を習得し、個人のメイクアップによる対人認知の変化を確認します。ライブマスクを使い、ベースメイク・アイメイク・リップメイクを練習して、個人の苦手とするメイクアップ技術を向上させ、実際にメイクにより個人の気持ちの変化やスキルアップを体感しながらメイク技術を学びます。(ライブマスクとは、メイクアップ練習用 顔型のこと)</p> <p>*メイクセラピー2級 資格取得(認定メイクセラピーガイド)のための筆記試験合格対策も授業中に実施します。 *メイクセラピー3級資格取得検定試験は学内受験にて実施します。</p> <p>[ 到達目標 ]</p> <p>①メイクアップ論での習得した内容を実践することで、自己流メイクで理解できていなかった顔のプロモーションやパーツバランス、アンダートーンにあったメイクができるようになる。 ②技術を向上させることで、第一印象(好感度)をアップさせ印象管理の重要性を理解・表現できる。 ③メイクセラピー検定試験 3級 認定メイクセラピーガイド資格を履修者全員取得する。 ④就活メイク・社会人になった時の個人の演出メイクができるようになる。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>毎日スキンケアの手入れを心がけてください。スキンケアをしなかった場合、翌日の肌状態(乾燥・毛穴など)やメイクをした時のファンデーションのつき・のび・もちなどの違いを確認しておいてください。個人で化粧品を購入する際や化粧品など質問がある時は、事前に準備して相談してください。各回の講義について予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。</p> <p>[ 成績評価方法 ]</p> <p>理解度確認筆記テスト(30%)ライブマスク課題提出(60%)レポート提出(10%)で評価します。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートは、後日添削して解説後返却します。</li> <li>・ライブマスクは当日課題確認して技術向上のフォローアップをします。</li> <li>・3級資格検定試験対策、筆記模擬試験用紙は解答時に解説後返却します。</li> </ul> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ 受講生への要望、その他 ]</p> <p>①眉は顔型で整え方を説明、指導しますので無理にさわらないようにしてください。 ②オリエンテーションで個人のメイク品、備品関連を伝えますので準備してください。 演習には、個人の化粧品を持参します。(不足分は大学で予備を準備しています。) *日頃使用しているスキンケア・メイク化粧品、鏡、タオル、ヘヤーピンなど。 ③教科書は前期メイクアップ論 1冊を使います。(資料は、別途配布) ④前期メイクアップ論配布資料 準備しておいてください。</p> <p>メイクアップ演習履修者人数は20名を上限とします。</p> <p>履修者は メイ</p>			

授業科目名 (副題)	メイクアップ演習
担当者	遠藤 瑞穂
<p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.オリエンテーション 授業全体の概要、演習の進め方、ライブマスクなど準備</li> <li>2.顔のプロポーション・顔型(パーソナルカラー見つけ方ロールプレイ)</li> <li>3.メイクアップの心得(メイクアップ論・復習)</li> <li>4.ベースメイク(ベース補色・肌色の選び方)</li> <li>5.顔型と眉 アイブロウテクニック、眉の整え方</li> <li>6.アイメイク パートⅠ(アイシャドウ、アイライナー)</li> <li>7.アイメイク パートⅡ(マスカラ・アイブロウ)</li> <li>8.顔型とブラッシュメイク・リップメイク パートⅠ</li> <li>9.顔型とブラッシュメイクパートⅡ(ハイライト、シェイディング・唇修正)</li> <li>10.メイクセラピー3級/筆記試験対策</li> <li>11.セラピーメイク方法(求心顔・遠心顔)</li> <li>12.メイクセラピー3級資格取得学内試験</li> <li>13.実技演習に関する理解度確認テスト</li> </ol> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>【総生3-1】実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。 成績評価方法:理解度確認テスト(30%)、ライブマスク課題提出(60%)、レポート提出(10%)で評価。</p> <p>【総生3-2】主体的に学修を深める力を有している。 成績評価方法:理解度確認テスト(30%)、ライブマスク課題提出(60%)、レポート提出(10%)で評価。</p> <p>[ テキスト(ISBN) ]</p> <p>『メイクセラピー入門 3級対策』 著者名:岩井結美子 出版社:一般社団法人メイクセラピストジャパン メイクセラピー検定事務局 プリント配布</p> <p>[ 参考文献(ISBN) ]</p> <p>『「きれい」への医学』 著者名:海原純子著書 出版社:株式会社 講談社 『MAKEOVER/AHAPEOVERBEAUTYPROGRAM』 著者名:アドリアン・アーベル著 出版社:サンケイ出版 『美容の天才365日』 著者名:斎藤 薫 出版社:株式会社講談社</p>	